



いぎいぎ和歌山がんサポート理事長 谷野裕一

がんになっても いきいきと!

92

ワクチンの効果は

ウスというのをやっている。自由に話せるSNSです。たくさんグループがあり、好きなのが聞けます。コロナワクチンのグループもあり、金曜日の夜などは500人ぐらいでやっています。手を挙げて質問もできます。私も何回かワクチンのお話をしました。最近では、熱が出るとか、だるいとかでワクチンが怖いという人は減りました。ただ、ワクチンを打ってもかかる人がいるじゃないかと、来年も打たないといけないとか言う人がまだいます。

梅雨が本格化して散歩がしにくいですね。雨のない日になったら歩きましよう。そろそろ高齢の方のワクチンが完了して、若い方の接種も始まるので、きょうもまたワクチンの話をしたいと思います。

3月からクラブハ
もちろん、ワクチ

ンの効果は100%ではありません。例えば、シートベルトをしていても、車が潰れる大事故では命は救えません。でも、シートベルトをしていても死ぬ人がいるから、シートベルトをしないという人は、もう今時いませんよね。ワクチン

も同じことです。ワクチンを打つことによって感染が減れば、重症化が減り、死亡も後遺症も減ります。よくある質問は、来年も必要でしょうか? 正直に言うところデータはありませんが、ワクチンはインフル

エンザワクチンとは違います。インフルエンザは、その年に何種類かはやりまします。「2019/20シーズンのインフルエンザワクチン株選定の過程」に詳しくありますが、ワクチンは予測された数種類に対するものを使い、防御率は約6、

7割です。しかし、コロナワクチンは95%防御で、いまのところ変異種も同程度抑えられています。コロナワクチンは変異種をカバーできているので、来年も問題ない可能性が高いです。ワクチンを打って1年以上たっている人がいないので一生免疫が持つのか、来年には免疫が失活するのかわかりません。もしまだ

分らないことがあれば私の本を読んでください。質問する方法も書いています。実は先日、私の病院で術後患者さんに、コロナ感染が発生しました。昨年4月から事務員、看護師、患者と3人目の発症ですが、全て1人で終わりました。私が感染対策委員長として、昨年3月から患者さん全員にマ